

2019年12月22日

消化器内科に、過去に通院・入院された患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 抗血栓薬服用者に対する胃内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)後潰瘍へのポリグリコール酸シート被覆法に関する後ろ向き研究

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 香川大学医学部附属病院 消化器内科 病院助教 小林伸也

[研究の目的]

早期胃癌もしくは腺腫に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD: Endoscopic Submucosal Dissection)を施行した後の潰瘍底に polyglycolic acid sheet (以下PGAシート) (ネオベール®)・フィブリン糊併用療法を行うことで後出血を減少させるという仮説を検証する。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

早期胃癌もしくは胃腺腫の患者さんで、抗血栓薬(血液をサラサラにする薬)を内服しており、当科において2016年5月から2018年9月の期間に内視鏡的粘膜下層剥離術を施行された方のうち病変切除後の潰瘍底にネオベールシートを貼付された方。

○利用する検体・診療情報

診療情報: 診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査、手術所見)
基礎疾患、内服薬、診断日

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 消化器内科 小林伸也

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院消化器内科 担当医師 小林伸也

電話 087-891-2156 FAX 087-891-2158